

## 実りの秋・稲刈りシーズン到来！

# 県産ブランド米『愛ひとつぶ』の品種「なつきらり」収穫開始

8月20日頃より、愛知県産ブランド米『愛ひとつぶ』の品種「なつきらり」の収穫が始まります。



愛知県西尾市では、主に「コシヒカリ」と「あいちのかおり」を生産しており、『耕畜連携』を推し進め、有機質肥料を利用して安全・安心なお米を作っています。

8月中旬から刈り取りを開始している「あきたこまち」を皮切りに、8月20日頃より「なつきらり」の収穫がスタート。「なつきらり」の生産は令和2年度から取り組んでおり、令和2年産は9名が8.8畝で42トシ生産。今年度は12名が25.3畝で栽培しており、121トシの収穫を見込んでいます。

8月中旬から10月にかけて、市内全域ではこのような収穫風景を見ることができます

### ■収穫風景 取材対応日■

【日時】 8月23日(月) 13時20分集合

【場所】 JA西三河西部カントリー（西尾市西小柳町4丁目605）

取材先農家：渡辺幸人さん（西三河農協農作業受託部会 副部会長）

※集合後、収穫を行っている農家の水田へご案内します。

取材を希望される報道機関の方は、JA西三河企画課の尾形までご連絡ください。

※雨天等の天候不順の場合には収穫を行わない場合があります。

その場合には、事前に取材のご連絡を頂いた報道機関の方にはこちらからご連絡いたします。

### ■今年の作柄

今年は早い梅雨入りに加えて収穫直前の雨が多いものの、収量・品質ともに概ね良好です。刈り遅れてしまうと「胴割れ」して品質が低下してしまうため、生産者は作業タイミングを見極めながら4日ほどの短い適期期間をしっかりと守って収穫します。

コシヒカリは8/25頃より、あいちのかおりは9月下旬頃から収穫が始まる予定です。



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河（西三河農業協同組合）

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：尾形怜美

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818

HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関に発出しています。  
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。

# 厳しい基準をクリアした `あいち米の最高峰、 愛知県産ブランド米『愛ひとつぶ』とは

「愛知123号(品種名:なつきらり)」は愛知県農業総合試験場で開発された品種で、県初のブランド米です。ブランド名は愛ひとつぶブランド化推進協議会(県・地域協議会・JAあいち経済連・愛知県米麦振興協会)で構成)が公募した1,906件の応募の中から選定されました。

令和3年度における県下の作付面積は約116㍊で80名が生産。そのうち西尾市では12名が25.3㍊栽培しています。県下当たりの作付面積は西尾市が最大です。

『愛ひとつぶ』は、今年も県内の百貨店や量販店での販売を予定しています。

## ■ ブランド名のコンセプト

愛知県産の米なので「愛」の字、一粒でも存在感のあるお米であること、生産者の愛情が一粒一粒に込められているお米であることを表現しています。

## ■ 「なつきらり」の品種特性

高温耐性があり近年多い猛暑の年でも高品質の米を収穫できるほか、整粒歩合(欠け・割れなどがなく整った形の米粒の割合)が高いです。またツヤがあり、もちっとした食感が特徴です。

## ■ 『愛ひとつぶ』として出荷できる条件(出荷規格)

協議会で定めた品質基準を満たした「なつきらり」のみ、ブランド米として販売できます(重さや水分量、蛋白質の量をクリアした1等米)

※品質基準は、農産物検査における検査等級1等(最高格付け)であること、並びに玄米蛋白質含有量6.4%以下(水分14.5%換算)であること

※また、「愛ひとつぶ」の栽培には、「水稻の経営面積が原則10ha以上であること」など所定の条件があります。



## 9月に新米キャンペーンを開催します！

9月初めより `新米キャンペーン` を開催します。地元で採れたお米「コシヒカリ」を特別価格で販売。

また県産ブランド米『愛ひとつぶ』の販売も予定しており、市内ではAコープ、憩の農園、アグリプラザ幡豆店で精米2kg・5kgを取り扱います。

# 西尾市の安全・安心な米づくり

## ■ 西尾市の米生産

西尾市では農地集約が進んでおり、多くの水田で米・麦・大豆を2年かけて1作ずつ生産する「ブロックローテーション」を行っています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目				田植え (下旬から)	田植え				稲刈り		播種 (中旬から)	播種
2年目						収穫	播種				収穫 (下旬から)	収穫

■ 米(コシヒカリ) ■ 麦 ■ 大豆

## ■ 地産地消に向けて `顔が見える商品、をスギ薬局で販売！

市内で収穫された「コシヒカリ」と「あいちのかおり」は、JAブランド米 `矢作の恵、として市内のAコープや産直店舗等で販売しています。さらに地元企業であるドラッグストアチェーン「スギ薬局」と提携し、平成30年産より「愛知県西尾市産こしひかり」、「愛知県西尾市産あいちのかおり」の商品名で販売。

愛知・岐阜・三重・静岡の東海4県・約350店舗で取り扱い、地産地消に力を入れています。



## ■ 農業が盛んな西尾市ならではの！ `耕畜連携`で `環境にやさしい農業、を実践

耕種サイドと畜産サイドの連携を図り、10年以上前から「環境保全」に努めています。



米や野菜等を生産する耕種農家

堆肥を供給



転作田で生産した飼料作物を家畜の「飼料」として供給



畜産農家

フンをそのまま処分しようとする「産業廃棄物」となるため、市内の酪農家では自分たちの施設で堆肥を作っています。盛んな水稲栽培で家畜ふん堆肥を有効活用し、安全・安心な農産物の提供に貢献しています。

### 【生産者部会情報】

名称：西三河農協農作業受託部会

部会員数：48人（米・麦・大豆の専業農家で組織）

耕作面積：〈米・麦・大豆合計〉4,252畝（延べ面積）

〈うち米のみ〉 水田1,862畝

収穫時期：8月中旬～9月（コシヒカリ） 市内生産量の4割、9月下旬～10月（あいちのかおり）

西尾市の年間生産量：9,775ト（うちJA集荷量4,185ト、令和2年産）

流通：JAのカントリーエレベーターで荷受け後、JAあいち経済連を通して学校給食や県内の量販店、  
 外食産業などへ販売されます。